

令和2年7月22日

令和2年度「第1回須坂市地域包括支援センター運営協議会」
令和2年度「須坂市地域密着型サービス運営委員会」 (報告)

1 開催日時・場所

令和2年7月13日(月) 午後1時30分～3時 須坂市消防本部大会議室

2 出席者

鶴田 崇 委員	柄澤 直美 委員	土屋 麻子 委員
内田 泰子 委員	佐野 美香 委員	丸山 和平 委員
高相 道子 委員	土屋 文治 委員	滝澤 美和子委員
嶋田 久子 委員	松山 あき子委員	細井 洋子 委員
田中 友江 委員	青木 信一郎委員	北城 和久 委員
滝澤 友紀 委員		

3 欠席者

押鐘 芳子 委員

4 事務局出席職員

小林健康福祉部長	高橋高齢者福祉課長兼地域包括支援センター所長	関野地域包括支援センター地域支援係長
富沢地域包括支援センター介護予防係長	鈴木地域包括支援センター担当係長・保健師	宮川地域包括支援センター主任介護支援専門員・保健師
市村地域包括支援センター社会福祉士	外山地域包括支援センター社会福祉士	永井地域包括支援センター主任介護支援専門員
山岸高齢者福祉課高齢者福祉係長	唐沢高齢者福祉課介護保険係長	湯本高齢者福祉課高齢者福祉係主査
渡邊高齢者福祉課介護保険係主任主事		

5 傍聴者

なし

6 配布資料 (別添)

資料

須坂市地域包括支援センター運営協議会設置要綱
令和元年度地域包括支援センター事業報告
令和2年度地域包括支援センター事業計画
令和元年度地域支援事業決算書
令和2年度地域支援事業予算書
地域包括支援センターの機能強化について
須坂市地域密着型サービス運営委員会設置要綱

令和元年度地域密着型サービス運営状況
地域密着型サービス事業所への運営指導状況

7 開会

8 あいさつ

(会長)

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な行事が中止となっている。そのような中でも本運営協議会が開催されるということは、それだけ地域包括支援センターが地域の介護の中心となっていく非常に重要なものであるものと言える。本日も多くの議題があるが、審議をよろしくお願ひしたい。

3 自己紹介

4 議 事

(1) 副会長の選任について

運営協議会設置要綱第4による互選により、柄澤直美委員が選任された。

(2) 須坂市地域包括支援センター運営協議会

① 令和元年度事業報告

② 令和2年度事業計画

資料をもとに、事務局より説明があった。

■これに対し、委員より次のような質問が事務局に出された。

質問①高齢者虐待について

委 員 高齢者の虐待把握について、骨粗鬆症で骨折しやすい、服薬により痔ができやすい、認知症により被害妄想があったりするなど、なかなか実態がつかみにくいことがあると思うが、何か工夫していることはあるか。

事務局 虐待疑いの通報があった際、担当しているケアマネジャーなどがいれば、まずはそこから情報収集をする。そして、本人の状態がどうかの事実確認を行う。おっしゃったように虐待以外でもそのような症状が現れる場合もあるので、収集した情報を総合的に判断している。

工夫している点としては、なるべく多くの専門職の目で判断するようにしている。

そして虐待と判断されれば、被虐待者の保護や虐待の原因を考えるだけでなく、養護者（虐待者）への支援も併せて虐待対応としている。

委員 児童虐待と比べると、新聞に取り上げられることも少ないのが現状かと思う。大変かと思うが、引き続き対応をお願いしたい。

質問②介護予防教室等での新型コロナウイルス対策について

委員 各教室での新型コロナウイルス対策について、認知症で正しくマスクを使用できない方や、難聴で声が大きくなってしまふ方、マスクをしていても話す時は外してしまうような方がいると思われるが、何か対策はとっているか。

事務局 マスクの着用、手指消毒、窓の開閉など通常の感染対策を中心に行っている。ご指摘のように、ついマスクを外してしまうような方もいるので、マスクを正しく着用して外さないよう、こまめな声掛けを心掛けている。また、申し込んでもキャンセルする方が多いことから、参加者自身も情勢を判断しながら参加しているように思える。

委員 これからエアコンや暖房を使うようになった場合の換気についても、適切な対応をとっていただきたいと思う。

③ 令和元年度地域支援事業決算並びに令和2年度予算について 資料をもとに、事務局より説明があった。

■これに対し、委員より次のような質問が事務局に出された。

質問①新型コロナウイルスの感染予防対策の予算について

委員 新型コロナウイルスの関係で、会場を借りられないことが生じている。また、今後は会場使用にあたり、感染予防のための設備費、人件費などが発生してくると思うが、この予算にそれらは反映されているのか。
また、会場確保のための予算も考えていったほうが良いのではないか。

事務局 委託している事業所の会場で教室を行っていたが、会場使用が難しいと言われたことがあり、その時は市で所管している施設に会場を変更して実施した。手指消毒等の費用については、今回の予算に特に上げてはいないが、必要な

ことなので考えていきたいと思う。

また、会場が事業所から市の施設に変わった場合、委託料が減り予算に余裕が生じるため、その分を感染対策に充てるなどを考えたいと思う。

委員 感染予防をしないと参加者は減ってしまうと思う。他県では予防にかなり力を入れているところがあるようだ。感染対策には費用もかかるので、ぜひ予算に加えていただきたいと思う。

委員 教室等での感染予防について、市の別の予算から出ることはあるか。

事務局 教室については3月早々に止める市町村もあった中、須崎市は事業者のご理解でほとんどの教室を継続できており、大変ありがたく思っている。感染予防についてはマスク、手指消毒など細心の注意を払ってやっていただいた。

また、会場については、利用制限の中でも介護教室に限り特別に利用させていただいた地域公民館もある。

感染対策の技術的なことについては、国の指針や、事業者が持つノウハウを活用させていただきながら取り組みたいと思っている。

質問②介護予防教室の利用料について

委員 地域支援事業決算書・予算書の歳入にある「利用者負担金」とは教室の利用料だと思うが、これは教室によって金額が違うのか。また、送迎の有無によっても金額は変わるのか。

事務局 はつらつ若返り教室（運動機能向上）と脳げんき教室（認知症予防）は1回250円となっている。いきいき教室（運動機能向上）については短期集中型で1回300円となってる。

送迎の有無で金額が変わるものではなく、短期集中型はマシーンを使っている分、利用料に差をつけさせてもらっている。

④ 地域包括支援センターの機能強化について

資料をもとに、事務局より説明があった。

■これに対し、委員より次のような質問が事務局に出された。

質問①地域包括支援センターの機能強化について

委員 先ほどの説明は「地域包括支援センターの機能強化の具体的な実施策について」という内容でよかったか。

事務局 地域包括支援センターが行うべきものはいくつもあり、「介護予防」やこれから新しく始まる「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」、社会福祉法の改正により始まる「重層的支援が必要な家庭へ対応」、平成27年度改正により始まった「総合事業」等、様々な使命を抱えており、これらをさらに進めるためにはどうしても機能強化が必要となる。

そのために必要な優秀な人材の確保、体制を整備したいというのが、今回の機能強化についての内容である。

委員 機能強化のためのマンパワー増は十分理解できる。配られた資料にある「須坂市及び須坂市地域包括支援センターの自己評価結果」の内容をフィードバックして、具体的な人数や費用を市民に示したら、より納得しやすいものになるのではないか。

事務局 先ほどの補足になりますが、介護予防ケアマネジメントの対象となる要支援認定者の増加も見込まれる中で、地域包括支援センターの介護支援専門員や他専門職の確保が難しいことや、委託している居宅介護支援事業所の受け入れ件数に制限もあることから、持続可能な体制整備が必要になっている。

また、総合相談事業について、ブランチ業務を3事業所に委託しているが、対応の9割以上が地域包括支援センターとなっている。また、新たに「重層的支援が必要な家庭へ対応」もあり、更なる専門職の確保が必要という厳しい現実に対処していかなければならない。

質問②地域包括支援センターの業務委託について

委員 新たに増える委託先の人員配置案が4人となっているので、委託先は一か所を考えているかと思う。しかし、地域に根差してより細かな相談業務に応えることを考えると、一か所で十分かは疑問に思うところだ。

今後の課題として、まずは一か所に委託し、その後徐々に委託先を増やしていく計画はあるのか。

事務局 委託はまず一か所と考えている。委託先を更に増やすかどうかは、その後の検討となると思う。

これは委託した結果を総括した後のことになるが、先進地の事例を見ると、あまり委託の単位を小さくしてしまうと、受託法人の人材確保が難しくなるといった現実的課題があるようだった。

どちらにしても現状では、今後さらに委託先を増やしていくとも、一か所以上は増やさないと明言はできない。しかし、機能強化していくためにはある程度委託を考えなければならないと思っている。

予算や、具体的にどの地区、どの業務を委託対象とするかは検討継続中だが、次回の運営協議会でお示ししたいと考えている。

(3) 須坂市地域密着型サービス運営委員会

- ① 地域密着型サービス運営状況について
 - ② 地域密着型サービス事業所への運営指導状況について
- 資料をもとに、事務局より説明があった。

5 その他

まとめ（健康福祉部長）

この新型コロナウイルス感染症を通して課題として浮かび上がったのは、継続することの難しさかもしれない。

会議の中では地域包括支援センターの委託についてあったが、これもある意味では継続することの難しさだと思う。ただ、今の時点では難しいことや課題もある。これらをどのように解決していくかだが、皆様のお力をお借りすること、あるいはご指導いただきながら進めていきたいと思っているので、よろしく願いしたい。

本日はありがとうございました。

6 閉 会